



◇ 田中電気の情報発信NEWSレター ◇

NEW! 田中電気セレクト 新製品情報

社会の安全を守ります

タクシー強盗防犯対策に!

監視・車両事故記録用ドライブレコーダー

『Road View』(マルハマ製)

今までのドライブレコーダーは衝撃を受けた際、車外の映像を記録するものですが、こちらは、車内の様子を映す画期的な新型! 又、カメラを外側に向けることも出来、更に音声も録音できます! 多発するタクシー強盗の防犯対策に、ドライバーの方の安全を守るためさらに進化したドライブレコーダーが誕生しました!

■主な仕様 電源電圧 DC12V/24V / 撮像素子 30万画素CMOSカラーイメージ / 撮影画角 水平90° / 最低被写体照度 2Lx / 画素サイズ QVGAまたはVGA / 記録メモリ SDカード / 音声録音機能 8bit,13.18kHz / 連続撮影機能搭載 / 日本製 / 予価 約3万円 (3月発売予定)

【タクシー強盗 不況期の犯罪に必要な自衛】

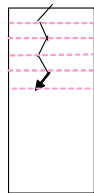
車内は密室である。運転手が不審な客と思っても、降車させるのは難しい。自衛策が不可欠だ。車内を映すカメラを搭載するタクシーもある。犯罪への威圧効果が期待できる。タクシー強盗は一昨年も184件発生し、今回の強盗続発は、急激に落ち込んだ景気の影響が表れ始めたのではないかと。市民レベルでも、さらに高い防犯意識の醸成を図りたい。

2009年1月8日01時32分 読売新聞社説 (抜粋)

♥ バレンタインデーのラッピングの作り方 ♥

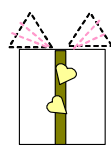


* 扇型のリボン



ジャバラに折る

(協力: 山崎俊子)



リボンで押さえ、扇型に広げる

- ①箱を縦の2倍の長さの用紙に包み、残りの部分を上にします
- ②上から数回ジャバラ折にし、中央をリボンで押さえます
- ③左右を扇型に広げ、リボンの上にハートのシールを貼ります



田中電気の社員紹介 今月のこの人!



久々のこのコーナー。今回は、ドコモショップ勤務の小林早紀さんです。ショップ歴3年の小林さんはドコモショップ秋葉原中央通り店のマスコット『秋中坊や』の生 秋中坊やみの親です。(右上イラスト) お客様へのサービスを行うマイショップの担当をしている時に生まれたそうです。趣味は読書。最近面白かったのは『対話論』(金城一紀著)とのこと。休日の過ごし方は、家から往復3~4時間かけて江戸川土手沿いをサイクリング。のんびりした雰囲気大好きだそうです。学生時代にデザインの専門学校に通っていたとのこと。田中電気のマスコット『たなかくん』の誕生も『スタッフみんなが仲が良いので楽しいです。ドコモショップへ是非お立ち寄りください!』



★お知らせ 第13回「震災対策技術展/自然災害対策技術展」<http://www.exhibitiontech.com/etec/>に出展します
当社は災害時の連絡手段として非常に有効な業務用無線システムの展示を行います。●2009年2/5(木)~2/6(金)●横浜国際平和会議場(パシフィコ横浜)●震災・災害への備え、緊急対応、救援復旧活動に関する展示会です。ご来場をご希望のお客様は招待状をお送りします。 info@tanaka-denki.co.jp 0120-150-712 FAX 03-3253-1360 担当矢島まで!

上記に関するお問合せは、0120-150-712 または info@tanaka-denki.co.jp

秋葉原ファクトリーは田中電気のお客様のための窓口です

アキバのちょっとオススメなお店

和文具・事務用品 『フォーシーズンズ・マツダ』



『3ヶ月先の季節感を売っています。』と松田社長。大きな円形のガラスウィンドーに素敵なカード達が並んでいるのが目を引くこのお店は創業なんと100年！世界中から選りすぐられた季節のカードや便箋、のし袋や京都名門老舗店の和小物などが美しく並べられています。外国人のお客もたくさんいらっしゃるそうです。店主の松田社長がイスラエルやチェコスロバキア、京都など現地へ直接見に行き、良い！と御めがねにかなったものしか置きません。お客様の立場に立って強く商品選びをしているとのこと。

『お店は生きている。毛細血管の先まで神経を行き渡らせている。』松田社長の独自の哲学が凝縮された世界が広がっています。きっとお気に入りの逸品が見つかるのでは。JR秋葉原駅昭和通り口改札を出て昭和通りを渡って右手に1分ほど進むとあります。



正面円形のガラスウィンドーの左右が入口。ひな祭りの和紙（B2）はなんと1,000円！プレゼントに喜ばれるとのこと。松田武司社長はこの道50年。SHOP DATA 千代田区神田佐久間町2-1 TEL: 03-3851-5048 月～金9:00～19:00 土10:00～15:00 日祝休

江戸の歴史 『百発百中の皆中(かいちゅう)稲荷神社』 シリーズ No. 25

JR新大久保駅の西にある。この辺りの地名は百人町だが、ここに江戸時代、鉄砲百人組の屋敷があった。

徳川家康は入府直後、内藤清成に伊賀組鉄砲隊を編成させ、甲州街道の要所、四谷に配置した。しかし、江戸城拡張工事にともない、寛永11年（1634年）、百人組の多くを大久保・戸塚方面に移した。

鉄砲組与力は日夜訓練に励んでいたが、いっこうに弾が的に命中せず、上達しない。悶々と苦しむ中で、ある与力の夢枕に稲荷大明神が立ち御札を示した。翌朝、大矢場で射撃をしてみると、これが百発百中。他の与力も、これを見習い稲荷で御札を貰うと、ことごとく的中した。

それ以来「皆あたるの稲荷」、すなわち「皆中稲荷」として、一気に参詣者が増えたといわれる。江戸時代には、毎年「鉄砲組百人隊出陣式」が、にぎにぎしく行われた。幕末から明治の混乱期には中止されていたが、昭和36年（1961年）に復活して、今も偶数年（平成に入ってから奇数年）には挙行されているそうです。（歴史の散歩道参照）



鉄砲百人隊出陣指揮（写真下）→



編集後記 本格的に寒くなってきましたが皆さま風邪などお気をつけください。暖かい春が（夏も）今から楽しみです。最近話題の妻夫木くん主演映画『感染列島』の影響もあってか、以前ご紹介した“プラズマクラスター”（イオンを発生してウイルスを除去する装置）のお問い合わせをたくさんいただいで嬉しい今日この頃です。ミニマガ担当者曰く、これから“パンデミック”（意味→感染爆発）という言葉がキーワードになりそうとのこと。